平成31年第１回定例会

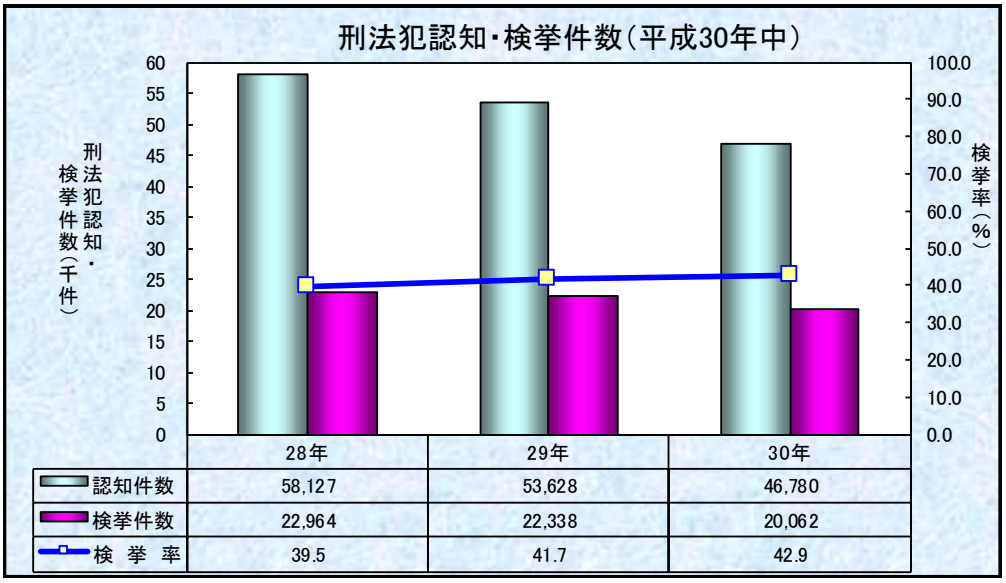
治　安　状　況

神　奈　川　県　警　察　本　部

共 通 項 目

○　県内の犯罪情勢

・　刑法犯認知件数　４万6,780件（前年比－ 6,848件）
・　刑法犯検挙件数　２万　 62件（前年比－ 2,276件）
・　刑 法 犯 検 挙 率　　42.9％（前年比＋1.2ﾎﾟｲﾝﾄ）



【主な特徴】

刑法犯は、認知件数（前年比－12.8％）及び検挙件数（前年比－10.2％）が減少、検挙率（前年比＋1.2ﾎﾟｲﾝﾄ）は上昇

生活安全部関係

1　犯罪の起きにくい社会の実現に向けた諸対策の推進

(1) 特殊詐欺被害防止対策の推進
(2) 県民の身近なところで発生し、不安を与える犯罪の抑止対策の推進
(3) 子供の犯罪被害防止対策の推進
(4) 防犯カメラ設置促進に向けた取組の推進
(5) 自主防犯活動の活性化に向けた取組の推進
(6) 繁華街・歓楽街の安全安心の確保に向けた環境浄化対策の推進

2　人身安全関連事案への対応状況

(1) ストーカー事案

相 談 等 件 数　1,004件（前年比－198件）
検　挙　件　数　　64件（前年比＋　２件）
警　　告　　52件（前年比－ 40件）
禁　止　命　令　　40件（前年比＋ 22件）
緊急禁止命令　　14件　※　緊急禁止命令は、一昨年６月の改正ストーカー規制法の施行に伴い新設

(2) 配偶者暴力事案

相 談 等 件 数　7,079件（前年比＋489件）
検　挙　件　数　　211件（前年比＋ 45件）

(3) 児童虐待事案

通　告　人　員　8,535人（前年比＋2,350人）
検　挙　件　数　　36件（前年比＋　　２件）

３　少年非行防止及び保護総合対策の推進

(1) 非行少年の検挙・補導状況

検挙・補導人員 2,352人（前年比－462人）

【主な特徴】

・　街頭犯罪の検挙・補導人員に占める少年の割合は、41.7%
・　刑法犯で検挙した少年の再犯者の割合は、36.2%
・　刑法犯により検挙・補導した少年の包括罪種別の割合で最も多いのは窃盗の55.6%、このうちの手口別で最も多いのは万引きの26.3%

(2) 非行少年を生まない社会づくりの推進

ア　学校等の関係機関・団体、ボランティアと連携した少年の規範意識の醸成

イ　問題を抱える少年等への継続的な助言・指導等の立ち直り支援活動の推進

４　サイバー犯罪対策の推進

(1) サイバーセキュリティ戦略における各種取組の推進
(2) 大学、ＩＴ関連企業等との情報交換、広報啓発活動の推進
(3) 小・中学生、高校生及びその保護者を対象としたサイバー教室、中小企業の社員等を対象としたセミナー等の開催
(4) ＩＴ関連企業への職員研修派遣
(5) サイバー犯罪捜査実戦塾及びサイバー犯罪捜査検定の実施による捜査員の対処能力向上

５　各種犯罪の検挙状況

(1) 福祉犯罪の検挙状況

検挙件数　　786件（前年比－５件）
検挙人員　　723人（前年比－２人）

【主な特徴】

・　児童ポルノ法違反の検挙が増加
・　労働基準法違反の検挙が減少

【検挙事例】

・　ニュージーランド国内で、わいせつＤＶＤ等の販売サイトを立ち上げ、児童ポルノＤＶＤ等を国際郵便で日本国内へ輸出する方法で販売していた被疑者を児童ポルノ提供目的輸出事件で検挙

(2) 生活経済事犯の検挙状況

検挙件数　1,064件（前年比＋129件）
検挙人員　　726人（前年比＋ 37人）

【主な特徴】

・　知的財産権侵害事犯の検挙が増加
・　環境事犯（焼却の禁止）の検挙が減少

【検挙事例】

・　不正の利益を得る目的で電子通信機器会社の営業秘密である光通信部品関係の設計図面を領得し、中国に所在する競合会社に電子メールにより開示した元役員ら２人を不正競争防止法違反（営業秘密

	の領得・開示）で検挙 ・　無登録で金融商品取引業を営み、全国の一般投資家563人から約23億円の出資を募り、ほとんど投資運用することなく現金を騙し取っていた詐欺グループの主謀犯ら12人を詐欺及び金融商品取引法違反（無登録営業）で検挙 **(3) 風俗関係事犯の検挙状況** 検挙件数　1,047件（前年比－４件） 検挙人員　　679人（前年比＋35人） **【主な特徴】** ・　風俗営業事犯の検挙に増減なし ・　賭博事犯及び外国人雇用事犯の検挙が増加 ・　売春事犯及びわいせつ物事犯の検挙が減少 **【検挙事例】** ・　関内地区で営業していたカジノ賭博店を摘発し、経営者ら３人を賭博開張図利、賭客５人を賭博で検挙 ・　インターネット掲示板にわいせつ画像を掲示するなどのわいせつ物事犯で被疑者168人を検挙 **(4) サイバー犯罪の検挙状況** 検挙件数　1,278件（前年比＋67件） **【検挙事例】** ・　コンピュータ・ウイルスをアップローダーサイトに蔵置、保管して不特定多数の者に提供した小学生及び同ウイルスを取得した小学生２人を不正指令電磁的記録保管等で補導 ・　ウェブサイトに仮想通貨「モネロ」を採掘させ報酬を得る不正プログラムを蔵置し、同意なく閲覧者が使用するパソコンの機能を動作させたウェブサイト運営業の男を不正指令電磁的記録保管及び同供用で検挙
刑事部関係	**1　重要犯罪等の認知及び検挙状況** **(1) 重要犯罪の認知及び検挙状況** 認知件数　754件（前年比＋　21件） 検挙件数　638件（前年比＋　29件） 検 挙 率　84.6％（前年比＋1.5ﾎﾟｲﾝﾄ） **【重要犯罪】** 殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐･人身売買及び強制わいせつ **【主な特徴】** ・　重要犯罪は、認知件数（前年比＋2.9％）、検挙件数（前年比＋4.8％）及び検挙率（前年比＋1.5ﾎﾟｲﾝﾄ）のいずれも上昇 ・　罪種別では、強盗の認知件数（前年比－4.7％）が減少したが、検挙件数（前年比＋29.3％）、検挙率（前年比＋23.0ﾎﾟｲﾝﾄ）がいずれも増加 **【検挙事例】** ・　平塚市札場町一般住宅における女性殺人事件

・　横浜市神奈川区大口通所在の病院施設における入院患者殺人事件
・　横須賀市内居住の女性に対する殺人・死体遺棄事件
・　神奈川区大口通における強盗殺人未遂事件

(2) 重要窃盗犯の認知及び検挙状況

認知件数	4,343件	（前年比－　1,203件）
検挙件数	3,076件	（前年比＋　228件）
検挙人員	362人	（前年比－　85人）
検 挙 率	70.8％	（前年比＋ 19.4ﾎﾟｲﾝﾄ）

【重要窃盗犯】
侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすり

【主な特徴】
・　認知件数（前年比－21.7％）、検挙人員（前年比－19.0％）が減少、検挙件数（前年比＋8.0％）、検挙率（前年比＋19.4ﾎﾟｲﾝﾄ）が増加
・　認知件数では金庫破り（前年比－47.6％）、事務所荒し（前年比－19.6％）、出店荒し（前年比－46.8％）、ひったくり（前年比－33.7％）、自動車盗（前年比－37.4％）が減少、忍込み（前年比＋0.8％）が増加
・　検挙件数では出店荒し（前年比＋42.6％）が増加、空き巣（前年比－9.3％）が減少
・　検挙人員では金庫破り（前年比＋55.6％）が増加、空き巣（前年比－16.8％）が減少

【検挙事例】
・　川崎市、横浜市北部地区における宵の空き巣事件
・　横浜市南部地区におけるオートバイ利用連続ひったくり事件
・　素行不良者による連続出店荒し等事件

(3) 特殊詐欺事件の認知及び検挙状況

認知件数	2,604件	（前年比＋　181件）
被害総額	約57億9,800万円	（前年比＋ 約1,900万円）
検挙件数	492件	（前年比＋　167件）
検挙人員	204人	（前年比＋　25人）
検 挙 率	18.9％	（前年比＋　5.5ﾎﾟｲﾝﾄ）

※　特殊詐欺とは、「振り込め詐欺」と「振り込め詐欺以外の特殊詐欺」に分類され、「振り込め詐欺」には、オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺の４類型があり、「振り込め詐欺以外の特殊詐欺」には、金融商品等取引名目、ギャンブル必勝法情報提供名目、異性との交際あっせん名目、その他の名目の４類型がある。

【主な特徴】
・　特殊詐欺の認知件数のうち、1,886件（約72％）が「オレオレ詐欺」の被害
・　「オレオレ詐欺」のうち、警察官や銀行協会等を装って、キャッシュカードを直接だまし取り、即座に現金を引き出す被害が多い

（1,087件、前年比＋339件）
・　「還付金等詐欺」が減少（339件、前年比－132件）

【検挙事例】
・　山口県警察等との合同捜査を推進し、特殊詐欺の犯行拠点４か所（県内２か所）を摘発し、架け子被疑者19人を検挙
犯行拠点の手口別では、３か所が「オレオレ詐欺」で１か所が「架空請求詐欺」
・　秋田県警察との合同捜査を推進し、被害金を収受したとして暴力団組長らを検挙

２　組織犯罪対策

(1) 暴力団犯罪の検挙、行政命令の発出及び暴力団排除条例の適用状況

（平成30年12月末）

暴力団犯罪	検挙件数	1,739件	（前年比－　299件）
	検挙人員	728人	（前年比－　113人）
行政命令	中止命令	79件	（前年比＋　３件）
	再発防止命令	２件	（前年比－　２件）
暴排条例	勧告	６件	（前年比－　４件）
	中止命令	１件	（前年比＋　１件）
	検挙件数	２件	（前年比＋　２件）

【主な特徴】
・　検挙人員のうち、稲川会が占める割合は約57%、六代目山口組、神戸山口組及び任侠山口組が占める割合は約14%

【検挙事例】
・　稲川会傘下組織幹部らによる偽造有印公文書行使・詐欺未遂事件
・　住吉会傘下組織組員らによる監禁及び傷害事件

【県内の対立抗争情勢等】
・　平成28年２月、３月に発生した合計２件の対立抗争事件（①建造物損壊、②器物損壊）以降、県内での発生はない。
・　平成28年３月９日に対立抗争集中取締本部を設置して以降、平成30年12月末までに六代目山口組、神戸山口組及び任侠山口組の構成員を89件の事件で、延べ94人検挙している。

(2) 薬物犯罪の検挙状況

検挙件数　1,682件（前年比＋74件）
検挙人員　1,104人（前年比＋34人）

【押収量の内訳】

覚醒剤	217,682.4ｇ	（前年比＋39,349.3ｇ）
乾燥大麻	8,507.9ｇ	（前年比－ 2,453.2ｇ）
大麻草	195本	（前年比－　940本）

【主な特徴】
・　検挙人員の58.8%（650人）が覚せい剤取締法違反

【検挙事例】
・　覚醒剤を密輸入した暴力団関係者を覚せい剤取締法違反で検挙
・　麻薬を密輸入したベトナム人２人を麻薬特例法・麻向法で検挙
・　アメリカ来大麻密輸入等により６人を大麻取締法違反で検挙
・　ケニアから覚醒剤を密輸入した夫婦を覚せい剤取締法違反で検挙
・　札幌で大麻を栽培・販売した男４人を大麻取締法違反で検挙
・　横浜市内で大麻を栽培した男８人を大麻取締法違反で検挙
・　タイ王国来覚醒剤密輸入等により夫婦を覚せい剤取締法違反で検挙

(3) 銃器犯罪の検挙状況
検挙件数　20件（前年比＋１件）
検挙人員　23人（前年比＋８人）
拳銃押収　27丁（前年比＋３丁）

【検挙事例】
・　川崎市内の拳銃所持事件で男２名を検挙し、拳銃１丁を押収
・　暴力団幹部による拳銃加重所持事件で拳銃６丁実包169個を押収
・　暴力団幹部による拳銃加重所持事件で拳銃１丁実包16個を押収
・　暴力団組員らによる拳銃加重所持事件で拳銃２丁実包21個を押収

(4) 外国人犯罪の検挙状況
検挙件数　1,636件（前年比－588件）
検挙人員　1,193人（前年比－ 62人）

【主な特徴】
・　ＳＮＳを犯行の連絡手段として使用している場合が多く、犯罪の匿名性を強めている。
・　人的ネットワーク、犯行形態等が複数国にまたがり、犯罪が巧妙化
・　各種犯罪を支える犯罪インフラが外国人コミュニティ内に潜在化

【検挙事例】
・　盗難車両を海外に不正輸出していた輸出仲介業者ら６人を関税法違反で検挙

(5) 犯罪インフラ撲滅対策の推進状況
【撲滅に向けた取組】
・　犯罪インフラ事犯の検挙、実態解明、関係機関・関係事業者等と連携した犯罪インフラを生まないための環境づくり等を推進
・　「神奈川県生活保護不正受給等防止対策連絡会」による各自治体との連携強化
・　平成30年10月に不動産関係団体、配送事業者、通信販売事業者、防犯用品販売会社等との「第３回空き部屋対策推進連絡会」を開催し、連携を強化

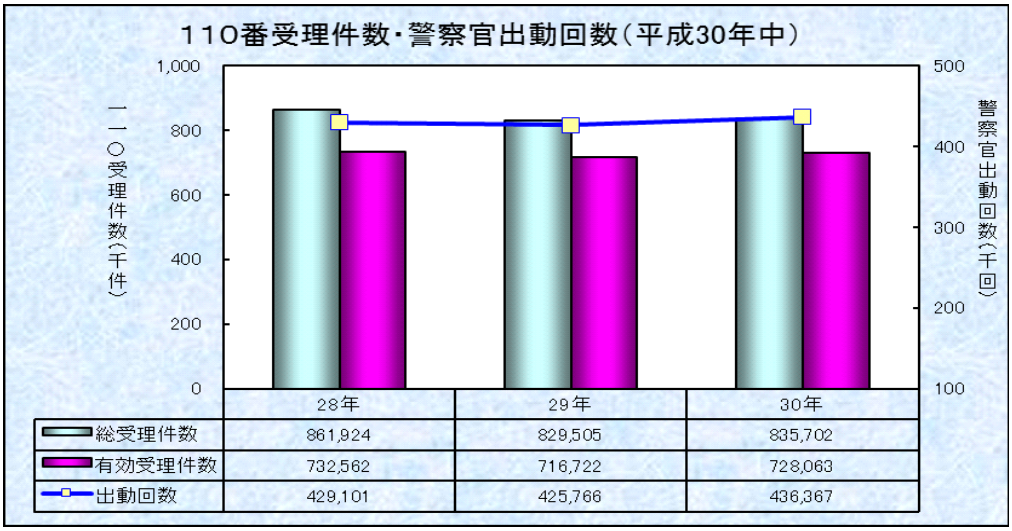
【検挙事例】
・　偽造の身分証明書を利用した有印私文書偽造・同行使、詐欺等事件
・　障害介護給付費の不正受給による詐欺事件
・　中国人らによるクレジットカード情報を不正利用した組織的窃盗等事件
・　法人２社の取締役らが関与する中国人の在留資格不正取得事件

地域部関係

1　110番の受理状況

総受理件数　83万5,702件（前年比＋　　6,197件）
有効受理件数　72万8,063件（前年比＋１万1,341件）

・１日平均の総受理件数は、2,290件（前年比＋17件）
・37.7秒に１件の割合で入電
・リスポンスタイムは、平均８分47秒



2　緊急配備の実施状況

発令件数　325件（前年比－　　68件）
検挙件数　147件（前年比－　　41件）
検挙率　45.2％（前年比－2.6ﾎﾟｲﾝﾄ）

3　地域警察官の活動状況

(1) 刑法犯の検挙状況

検挙件数　１万571件（前年比－1,729件）
検挙人員　１万681人（前年比－1,711人）

(2) 特別法犯の検挙状況

検挙件数　3,431件（前年比－303件）
検挙人員　3,400人（前年比－268人）

【検挙事例】

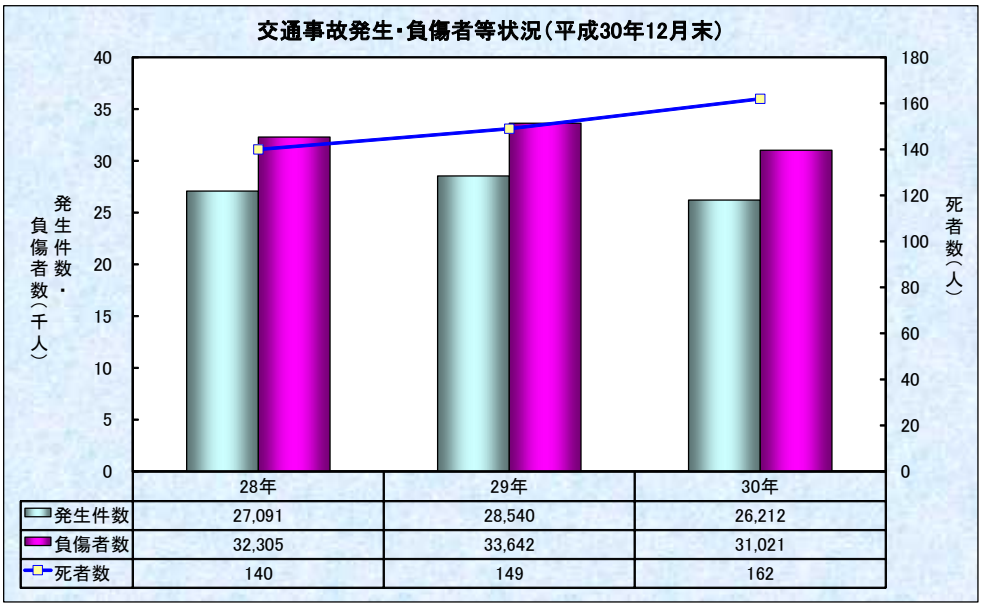
・　自動車警ら隊員が、パトカーの姿を見て顔を背けた不審な男を発見し、所持品検査の結果、大麻を発見して検挙
・　署パトカー乗務員が、逃走手配中のタクシー強盗犯人に類似の男を発見し、追及したところ犯行を自供したため、所要の捜査を行い検挙
・　交番勤務員が、駐車中の車両内にいた不審な男を発見し、徹底した車内検索の結果、覚醒剤を発見して検挙

交通部関係

1　交通事故の発生状況

(1) 人身交通事故の発生状況

発生件数　２万6,212件（前年比－2,328件）
負傷者数　３万1,021人（前年比－2,621人）
死者数　　162人（前年比＋　13人）



(2) 平成30年交通事故防止総合対策

交通事故死者の減少を目指し、「高齢者と子供の事故防止対策」、「二輪車事故防止対策」、「自転車事故防止対策」、「飲酒運転根絶対策」の４つの対策を重点に実施

２　重大事故事件の検挙状況

(1) 死亡ひき逃げ事件の検挙状況

発生件数　８件（前年比－１件）
検挙件数　８件（前年比－１件）

(2) 危険運転致死傷罪の適用状況

適用件数　34件（前年比＋８件）

３　暴走族対策（平成30年12月末）

(1) 暴走族等の現状と検挙状況（旧車會を含む。）

・　現状
暴走族数　10グループ、579人
旧車會数　51グループ、472人

・　検挙状況
道路交通法違反等の検挙人員　730人（前年比＋56人）
（内、共同危険行為等の禁止違反者　82人（前年比＋35人））

(2) 暴走族加入防止教室の開催状況

学校を対象とした暴走族加入防止教室等を232回開催し、中高校生等５万9,954人が受講

４　運転免許保有者数等（平成30年12月末）

運転免許保有者　563万9,919人（前年比＋1万7,419人）
運転免許の行政処分　１万9,773件（前年比－　4,162件）
行政処分のうち取消処分　2,126件（前年比＋　46件）

	(1) 自主返納件数 自主返納件数　２万9,544件 うち65歳以上　２万8,284件 うち75歳以上　１万7,708件 (2) 認知機能検査の結果による取消し処分件数（暫定値） 取消処分件数　187件
警備部関係	1　2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を見据えた警備諸対策の推進 (1) 体制の強化 ・　オリンピック・パラリンピック対策課の新設（平成30年４月１日） ・　2019警備対策室の設置 (2) 官民一体のテロ対策の推進 ・　管理者対策の推進 ・　県民の理解と協力の確保 (3) 国際テロの未然防止に向けた対策等 ・　水際対策 ・　サイバー攻撃対策 ・　爆発物原料対策 (4) 違法行為の検挙 ・　出入国管理及び難民認定法違反 不法滞在者等、453人を検挙 ・　右翼団体幹部による恐喝未遂事件 (5) 警衛・警護警備 ・　天皇皇后両陛下の「葉山御静養」に伴う警衛警備等、141件の警衛警備を実施 ・　「平成29年度防衛大学校卒業式典」出席における警備等、251件の警護警備を実施 2　大規模災害に対する警備諸対策の強化 (1) 総合指揮室の機能強化 ・　現場映像システム等の整備 (2) 県内における災害対策の推進 ・　即応対策チームによる警察署への巡回指導 ・　広域緊急援助隊を対象とした災害対処能力の向上 (3) 防災関係機関との連携の強化 ・　「大震災対策合同訓練」等の実施 ・　「ビックレスキューかながわ、県・海老名市合同防災訓練」等への参加